

3 大洞間伐推進指標林 (利用面を考慮した間伐)

森林技術センター

設定の目的

市場価値の高い材木を収穫する間伐技術の普及とその定着化等に活用するとともに残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術の向上に役立てる。

場 所 岐阜県益田郡小坂町大洞国有林192林班へA小班

面 積 1.03ha

施業等の概要

昭和27年ヒノキ植栽 (3,500本/ha), 下刈6回, 除伐4回 (昭和34,39,44,58年)

間伐前の林況は, 本数2,250本/ha, 材積264m³/ha, 昭和62年, 本数1,225本/ha, 材積198m³/haを残し間伐

調査計画等

昭和62年に調査プロット (20m×20m) を2ヶ所設定し, 3年目毎に樹高, 胸高直径, 収量比数, 樹型級区分を調査している。

地 況

標 高: 860~900m 林地傾斜: 29°

土壌型: B₀(d) ・一部 B₀ 方 位: N

林 況

平成6年10月現在, 1,238本/ha, 257m³/ha, 平均樹高14m, 平均胸高直径19cmとなっている。

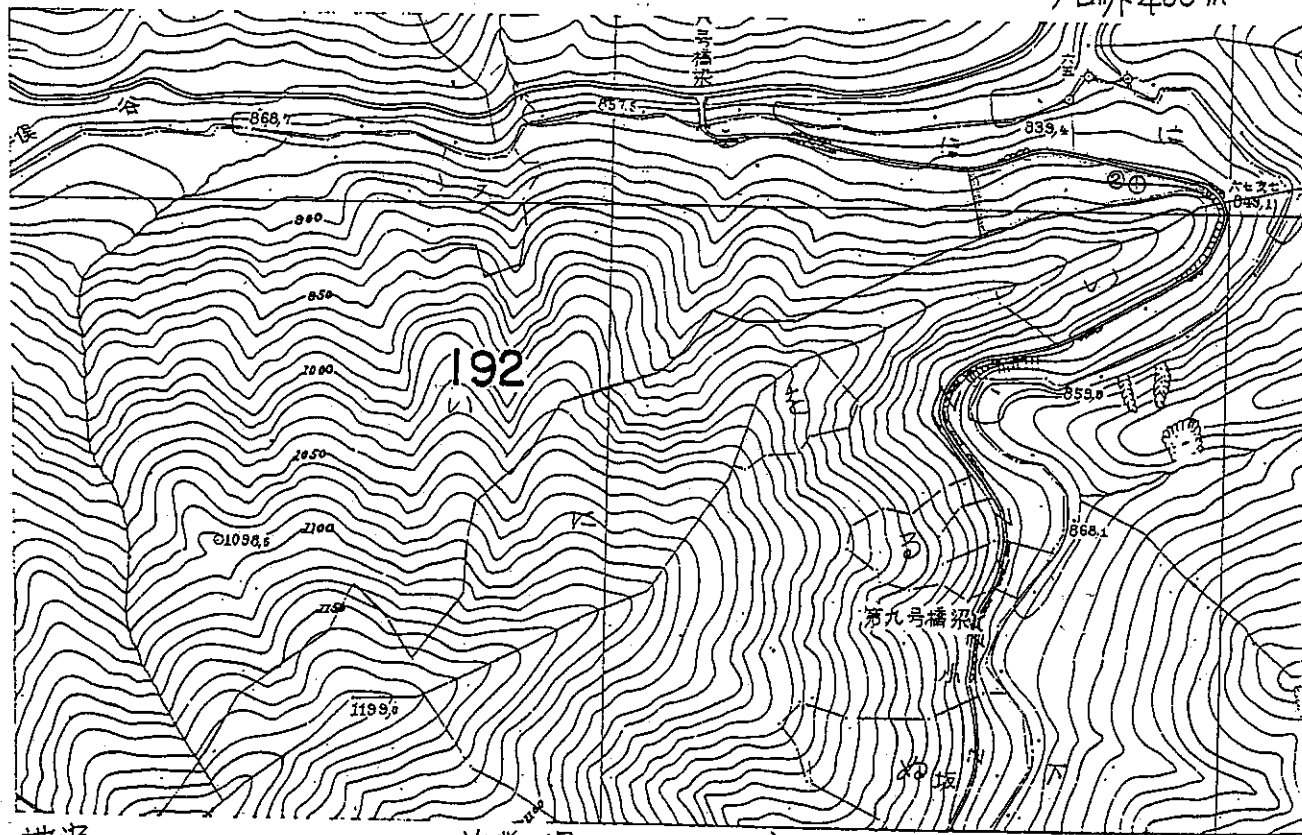
下層植生は, マルバノキ, コアジサイ, チマキザサ, シロモジ, クロモジ, ムラサキシキブである。

間伐推進指標林位置図

(施業田 1-2)

面積 0.60 ha.

- ① 利用間伐
- ② 従来 "
- 700m x 400m



地況

標高 860~900m
 地形 山腹下降斜面
 方位 北
 傾斜 29°
 基岩 濃緑流紋岩類
 土壌 Bdd
 下層植生 一部Bd.
 マルバノキ、クサガサ
 ヤマシサ、シモジ

施業経過

昭和27年5月 ヒキ 3500本/ha 植 11.50 ha.

下刈り 6回

除伐 4 "

(昭34.39.

44.58)

*42.47年一部天然林へ

林況 間伐実行表のとおり。